

令和2年度 楯岡小学校 学校評価 結果

令和2年 12月

令和2年度の「学校評価」について、下記のとおりの結果となりました。ご協力ありがとうございました。これを受けて、令和3年度の学校づくりに生かしてまいります。

Ⅰ 児童全体 学校生活のアンケート

(1) 結果 (◎:とてもそう思う ○:そう思う △:あまり思わない ×:全然思わない)

質問項目	◎	○	△	×	令和2年度		令和元年度	
					プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価
1 学校で、楽しく生活していますか。	68%	25%	5%	1%	93%	7%	95	5
2 学校のみみなでがんばること(あきらめない・ありがとう・あいさつ)を頭に入れて、それぞれについて自分なりにがんばることができましたか。	54%	39%	6%	1%	93%	7%	93	7
3 友達や先生にほめられたり応援してもらったりしていますか。	60%	29%	7%	3%	90%	10%	94	6
4 クラス替えをして、新しいクラスの仲間と仲良く学習したり生活したりしていますか。	78%	17%	4%	0%	95%	5%	96	4
5 一緒に遊んだり、楽しく話をしたりする友だちはいますか。	89%	9%	2%	1%	97%	3%	97	3
6 あなたやあなたの友だちが困っているとき、まわりで問題があるとき、何とか解決しようと行動していますか。(話し合う、相談する、注意するなど)	57%	34%	8%	2%	91%	9%	91	9
7 がっこうのきまりやじかんをまもって、せいかつしていますか。(低) 学校のきまりを守って、けじめのある生活ができましたか。(中高)	54%	37%	7%	2%	91%	9%	92	8
8 自分には、よいところがあると思いますか。	47%	35%	12%	6%	82%	18%	86	14
9 読書に親しんでいますか。	59%	27%	11%	3%	86%	14%	83	17
10 ともだちやせんせいはなしをよくきいて、べんきょうしていますか。(低) 授業では、話をよく聞いたり資料を読んだりしていますか。(中) 話をよく聞いたり、資料を読んだりして、自分の考えをもつようになっていますか。(高)	56%	36%	8%	1%	91%	9%	81	19
11 すすんでじぶんのかんがえをかいいたり、はなしたりしていますか。(低) 授業では、自分の考えを話したり書いたりしていますか。(中) 自分の考えを、相手にわかるように理由や根拠をそえて伝えていきますか。(高)	46%	39%	12%	3%	85%	15%		
12 しゅくだいやしゅがくしゅをすすんでがんばりましたか。(低) しゅくだいやしゅ学習に自分から取組み、めあてをもってがんばりましたか。(中) 自分の力をのばすために、めあてをたてて、家庭学習(宿題や自主学習)に取り組んでいますか。(高)	59%	31%	7%	2%	90%	10%	90	9
13 勉強がわからないとき、先生や友だちに質問していますか。	61%	27%	8%	4%	88%	12%	87	13
14 友達との距離やマスク、手洗いについて、ウィルスに感染しないように自分から考えて行動できましたか。	63%	29%	7%	2%	92%	8%		
15 午前5時間授業によって、集中して学習に取り組む、よりよい学校生活を送ることができましたか。	69%	23%	6%	2%	92%	8%		

(2) 結果を受けて、今後に生かしていくこと

- ・「3」について、「仲良し week」などを設定して、お互いにいいところを出し合い、認め合う活動を取り入れていく。また、日々の認め合う雰囲気づくりが重要となるので、学級活動や道徳の時間、一日の振り返りの場面などで、自分の成長や友達のよいところを共有する時間を大事にしていきたい。さらに、成功体験、失敗の両面を認め、一人一人の持ち味や得意なところを生かしていく学級経営が重要である。自分のよさを実感できるような振り返りを位置付けていきたい。
- ・「8」について、自尊感情を高める学級活動、構成的グループエンカウンターを活用、生徒指導の三機能を生かした授業づくりを、学校全体で取り組んでいくようにする。また、学校と家庭で連携し、子供のよさを認めていく取組をしていきたい。子供の小さな変化も見逃さず、声をかけて認めていく。一人一人のよさを見る目をもっともち、小さなことでもその都度伝えていくようにする。
- ・「11」については、全体の前で発表、クラスでの話し合い、グループでの協働、ノートづくり、作品づくりなど、様々な言語活動を充実させていくことで、表現力のある子供に育てていきたい。
- ・「15」について、今年度からスタートした午前5時間授業は、9割の児童がプラス評価である。来年度も継続していきたい。



2 保護者アンケート「学校教育に関して」

(1) 結果 (◎:とても思う ○:そう思う △:あまり思わない ×:全然思わない)

質問項目	◎	○	△	×	令和2年度		令和元年度	
					プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価
1 学校は、「あきらめない ありがとう あいさつ」のスローガンのもと、子どもたちの学校生活の充実をめざしている。	27%	68%	5%	1%	95%	5%	93.8	5.8
2 学校は、子供の立場に立って丁寧に指導している。	28%	66%	6%	0%	94%	6%	84.2	13.8
3 学校は、家庭・地域の連携を大切にして、開かれた学校づくりに努めている。	25%	69%	6%	0%	94%	6%	95.1	4.3
4 子どもたちは元気に登校できている。	45%	51%	4%	0%	96%	4%	97.9	2.1
5 全学年クラス替えにより、良好な人間関係が築かれている。 ※2年生以上	27%	64%	8%	1%	91%	9%	87.9	1.1
6 午前5時間授業によって、よりよい学校生活を送ることができている。	23%	67%	9%	1%	90%	10%		
7 学校は、新型コロナウイルス感染症対策への配慮を行っている。	35%	59%	5%	1%	94%	6%		
8 学校行事や授業参観・面談の時期など、年間を通してバランスよく配置している。	23%	71%	6%	1%	94%	6%	94.4	5.7
9 行事(相撲大会・運動会・校外学習・学習発表会など)や授業参観は、子どもの学校生活がよく分かると共に、子どもたちは、それぞれに積極的に参加している。	40%	57%	2%	0%	97%	3%	99.2	0.8
10 二者面談(10月実施)は、学習の様子や学校生活の様子がよく分かり、良い機会である。	45%	52%	3%	1%	96%	4%	96.1	3.5
11 学校は、学級だより・学校だより、ホームページなどで、情報を積極的かつ定期的に提供している。(学級だよりを週1回、学校だよりを月1回発行)	41%	56%	3%	0%	97%	3%	97.1	2.9

(2) 結果を受けて、今後に活かしていくこと

- ・「1」について、「三つの『あ』」を、児童会活動を充実させるなどして、子供の声で広げていきたい。
- ・「2」について、「北風より太陽作戦」をスローガンに、子供の立場に立った具体的で適切な指導を継続していきたい。
- ・「3」について、保護者とこまめに連絡を取り合い、パートナーシップを大切にしてよりよい関係づくりをしていく。
- ・「5」について、今後も、4月に学級づくりに関する研修を実施し、全職員が一丸となって自主的な集団づくりをおこなっていく。また、コロナ禍においては、マスクをしたままのコミュニケーションになるため、互いの気持ちを思いやるのが難しい場面がある。心のアンケートを活用し、一人一人の思いに寄り添えるようにしていかなければならない。
- ・「9」について、授業参観や学校行事に制限があったので、学校の方針や子供の活躍の様子をどんどん発信していくことが必要である。



3 保護者アンケート「お子さんに関して」

(1) 結果 (◎:とても思う ○:そう思う △:あまり思わない ×:全然思わない)

質問項目	◎	○	△	×	令和2年度		令和元年度	
					プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価
12 あなたのお子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。	51%	45%	4%	0%	96%	4%	96	4
13 あなたのお子さんは、担任やみんなから認められ、望ましい交友関係を築くことができている。	36%	58%	6%	1%	94%	6%	93	6
14 人間関係のトラブルなど、何か気になることがあったとき、先生に相談することができる。	28%	59%	12%	1%	87%	13%		
15 授業で学んだ学習内容を理解できている。	17%	65%	18%	1%	81%	19%	84	16
16 話を聞いたり話したりする態度や、書く力が身に付いている。	17%	67%	15%	1%	84%	16%	82	18
17 宿題や自主学習など家庭学習の習慣が身についている。	25%	55%	19%	1%	80%	20%	82	18
18 ご家庭で、お子さんの家庭学習の様子を見る機会を設けている。	20%	60%	19%	1%	80%	20%	79	21
19 社会生活に必要なルールやマナーを身に付けている。	17%	71%	12%	1%	87%	13%	85	15
20 早寝・早起きを心がけ、しっかり朝ごはんを食べている。	33%	52%	14%	1%	85%	15%	85	15
21 読書に親しんでいる。	19%	36%	34%	10%	56%	44%	61	38
22 ゲームなどのメディアの使用について、ルールを守っている。	13%	46%	34%	6%	60%	40%		

(2) 結果を受けて、今後に生かしていくこと

- ・「15」について、保護者に現状を丁寧にお話することが大切である。授業中の見取り計画、評価計画をていねいにしていく。
- ・「17」について、家庭学習の在り方を検討していく必要がある。これまでのように学校から宿題を出すだけではなく、子供自ら課題をたてて取り組む主体性を育てていきたい。スモールステップでめあてをもたせ、少しでもできたことを認め、自信をつけさせていく。
- ・「21」について、学校においては、今年度取り組んだ「ビブリオバトル」など、本に親しむ活動をどんどんやっていくことが重要。また、多読賞のように読書の量を認めるだけではなく、読書の質を認めていく機会をつくっていきたい。授業と連動した読書活動を行っていく。
- ・「21」について、親子読書、親子ブックトークなど、子供も大人も読書に親しむ機会をつくってきたい。
- ・「22」について、メディアとの向き合い方については、学校と家庭が連携して取り組んでいく必要がある。PTA 合同研修会の場を利用するなどして、メディアのルールをつくるなどして協働で取り組んでいきたい。また、学校で指導すること、家庭で指導することを明確にしていくことも必要である。
- ・「22」について、家庭での実践例などを交流できるようにしていったらどうか。向き合い方に悩む保護者の参考になるのではないかな。



4 学校評議員の方々からのご意見

(1) 学校での様子について

- ・コロナで制限されて中で、自分たちで考えて行動している。
- ・コロナで制限されたなか、学校経営を行っている。分散授業参観、運動会、どれもたいへんよかった。子供の力、先生方の力がすごい。
- ・子供たちの自主性が感じられる。しっかり自分の意見を主張している。
- ・明るく、温かく、のびのび生活していると思う。
- ・児童委員会で、たてのつながりができている。そのすばらしさは、大人になってわかるだろう。
- ・子供に生きる力、確かな力がついている実感がある。
- ・コロナでコミュニケーションがとれない。口元が見えないので、コミュニケーションが難しい。

(2) 家庭での様子について

- ・経済的に苦しい家庭もあるが、子供にそのような思いをさせてはならないと思っている。
- ・ゲームの時間が増えている。外での楽しみも減っている。
- ・チャットのできるゲームに、心配している。チャットは、「つながりたい」意識のあらわれでもある。
- ・地域のみなさんからの応援もよろしくお願いしたい。



HPにも掲載しています。右のQRコードを読み取ると簡単に表示できますので、ぜひ、ご覧ください。

